安心

災害時の代替路として活躍します

南海トラフ地震などの大規模災害による国道５６号の分断を広域交通ネットワークにより回避し、救命・救助活動、早期の災害復旧や物資輸送に必要な信頼性の高い代替路「命の道」として大きな役割を果たします。





国道56号（須ノ川地区）越波状況

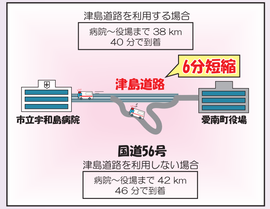


出典：愛媛県 津波防災地域づくりに関する法律に基づく津波浸水想定

第三次医療施設への搬送時間が短縮されます

津島道路が延伸することで、愛南町役場から市立宇和島病院（第三次医療施設※）への搬送時間が約６分短縮されます。救命救急を担う第三次医療施設がない宇和島市以南において、第三次医療施設に６０分で到達できる地域が拡大し、救命率の向上が期待されます。

※第三次医療施設とは、重篤および複数の診療領域にわたるすべての重篤な緊急患者に対し、24時間体制で高度な救急医療を提供する医療機関です。



※高速道路（事業中区間）の走行速度は V=70km/h に設定
※国道56号、高速道路（開通区間）の走行速度は ETC2.0プローブ（R3. 10月 混雑時平均速度）より算出



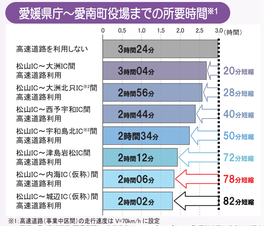
整備効果

便利

広域交通ネットワークがつながります

松山から南予地域に向けて広域交通ネットワークが整備されることにより、愛媛県庁～愛南町役場間は、国道56号を利用する場合に比べて最大８０分短縮されます。

愛媛県庁～愛南町役場までの所要時間※1



※1：高速道路（事業中区間）の走行速度は V=70km/h に設定
国道56号、高速道路（開通区間）の走行速度はETC2.0プローブ（R3.10月 混雑時平均速度）より算出
※2：大洲北只IC・宇和島北ICは山方面の出入りができないハーフICであるため、出入り可能な最寄りICまで高速道路を利用するものと想定



事業の進め方

事業化

地元説明（測量・調査立入説明会）
事業計画を説明し、測量等に伴う現地立ち入りのお願いをします。

測量・調査
基準点の設置・中心杭打設・縦横断測量・地形図作成等の測量や、地質調査等を実施します。

設計
測量や地質調査のデータを基に、道路構造や水路、付替道路等の設計を行います。

設計協議
道路構造を説明するとともに、水路、付替道路等の構造について協議します。

用地幅杭打設
道路の建設に必要な幅を示す杭を現地に打設します。

境界立会
民々境界、官民境界を現地にて立会します。

用地測量調査
丈量測量、建物、工作物、立木、その他補償対象物件の調査をします。

用地補償協議
用地測量調査に基づき土地価格、建物等の補償について協議します。

用地契約

工事

開通

国土交通省四国地方整備局
大洲河川国道事務所
〒795-8512 大洲市中村210
TEL 0893(24)5185 FAX 0893(24)2059
URL http://www.skr.mlit.go.jp/oozu/
こちらの二次元コードからサイトにアクセスできます ⇒

道路緊急ダイヤル ＃9910（無料）（24時間受付）
道路の異状を発見したら、道路緊急ダイヤルへご一報ください。
※夜間・土曜・日曜・祝祭日は対応出来ない場合もあります。

LINEで通報

四国の交通規制・道路気象情報は
四国地方整備局 道路情報提供システム
http://www.skr.mlit.go.jp/road/info/
こちらの二次元コードからもご利用いただけます ⇒

R8.3月作成

整備効果

WISENET 2050 国道56 ROUTE

一般国道56号
津島道路
四国８の字ネットワーク

つながる安心
ひろがる未来

津島岩松ＩＣ
Tsushima Iwamatsu
津島南ＩＣ（仮称）
Tsushima Minami
内海ＩＣ（仮称）
Uchiumi



愛媛県は全国トップクラスの「かんきつ王国」



愛南町は全国有数の真鯛生産地

国土交通省四国地方整備局
大洲河川国道事務所

整備効果

課題

南予地域の課題

愛南町は、広域交通ネットワークが繋がっておらず、また鉄道空白地域でもあります。

- 道路以外の交通ネットワークに乏しく、幹線道路は国道５６号しか存在しません。
- 南海トラフ地震などの災害発生時には、国道５６号の分断が想定され、救命・救助活動や物資輸送への支障が想定されます。
- 宇和島市南部や愛南町から、県都である松山市、交通拠点である松山空港まで約１００ｋｍ離れており、長い移動時間を要します。
- 宇和島市以南には救命救急を担う第三次医療施設がなく、愛南町では第三次医療施設に６０分で到達できない地域が存在しています。



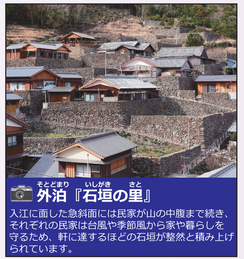
経済成長・物流強化
交通ネットワークの連携強化
観光立国の推進

交流

地域間の交流が活性化されます

県都・松山市から四国西南地域に向けて広域交通ネットワークが整備されることにより、地域のイベントや観光へのアクセスを支援し、地域間の交流が活性化されます。

松山と四国西南地域を広域交通ネットワークで直結し、地域間の交流が活性化します。



外泊（そとどまり）『石垣の里（いしがきのさと）』
入江に面した急斜面には民家が山の中腹まで続き、それぞれの民家は台風や季節風から家や暮らしを守るため、軒に達するほどの石垣が整然と積み上げられています。



整備効果

事業概要

国道５６号は、高知市を起点に、四万十市、宿毛市、宇和島市、大洲市を経由して松山市に至る延長約３５０ｋｍの主要幹線道路です。

南予地域を南北に通過するこの路線は、松山方面と南予、高知西南地域を結ぶ四国西南部の動脈で、県民の生活基盤として重要な役割を果たしています。

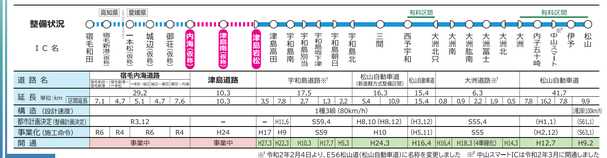
津島道路は、平成２４年度に事業化された、 内海ＩＣ（仮称）から 津島岩松ＩＣに至る延長約１０．３ｋｍの高規格道路（自動車専用道路）であり、宇和島道路に連結し、四国８の字ネットワークの一部を形成します。



凡 例
- 開通区間
- 事業中区間
- ○○○ 未事業化区間

詳しくはこちら
WISENET2050
（WISENET2050-提言集）、2023年 国土交通省

整備状況 （四国8の字ネットワーク 南予地域・高知西南地域 ～ 松山方面）

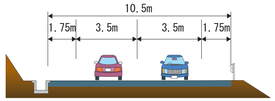


道路名	宿毛内海道路					津島道路		宇和島道路※1				松山自動車道（新直轄方式区間除く）		松山自動車道		大洲道路※2						松山自動車道		
延 長 単位:km （ ）は区間延長	7.1	4.7	5.1	4.7	7.6	10.3		3.5	7.8	2.7	1.3	2.2	5.4	10.9	15.4	0.8	0.9	2.2	1.9	0.5	7.8	16.2	7.8	9.9
	29.2					10.3		17.5				16.3			15.4	6.3					41.7			
構 造 （設計速度）	1種3種 (80km/h)																							
都市計画決定（策定計画決定）	R3,12					―		H11,6		S59,4		H8,10 (H8,12)			(H3,12)	S55,4					(H1,1)			(S61,1)
事業化（施工命令）	R6	R4	R6	R4		H24		H17	H9	S59		H10			(H5,11)	S55					(H2,12)			(S61,1)
開 通	事業中					事業中		H27,3	H23,3	H15,3	H17,7	H5,3	H24,3		H16,4	H16,4	H18,3 (4車線化)			H14,3	H12,7			H9,2

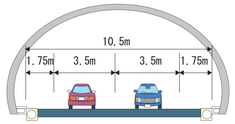
※1 令和2年2月4日より、E56松山道(松山自動車道)に名称を変更しました　※2 中山スマートICは令和2年3月に開通しました

標準断面図

土工区間

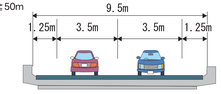


トンネル区間

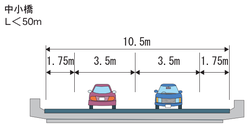


橋梁区間

長大橋
L≧50m



中小橋
L＜50m



宿毛内海道路　延長29.2km
令和6年度全線事業化

津島道路　延長10.3km
平成24年度事業化

宇和島道路　延長17.5km
開通区間

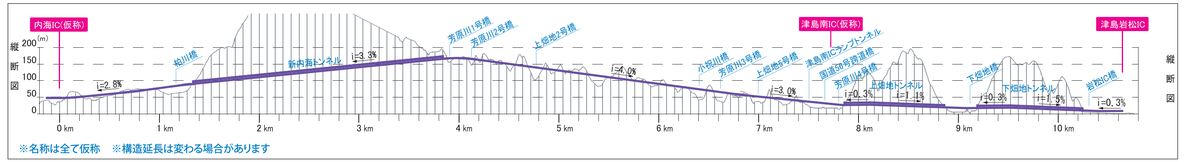


凡 例
- 4車線 暫定開通 / 2車線 開通 / 2車線 整備中 ― 一般国道※
- ― 一般国道
- ― 主要地方道
- ― 一般県道
- 台/24H 令和3年度 全国道路・街路交通情勢調査（平日24時間交通量）

※高速自動車国道に並行する一般国道の自動車専用道路



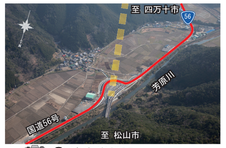
① 内海IC（仮称）



※名称は全て仮称　※構造延長は変わる場合があります



② 津島南IC（仮称）



③ 津島岩松IC